



YOSHIMURA & SONS
master tailor

スーツの歴史

英国で6世紀誕生

日本には明治維新以降(1868年以降)

明治5年11月12日より礼服として洋服が用いられる

一般男性に広まり始めたのは明治20年以降

※戦前の日本では**すべてオーダーメイド**で作られる高級品

よしまら様の歴史

創業は明治17年。

文明開化とともに日本が急速に欧米化し、生地問屋として初代吉村繁蔵が大阪の地(谷町)に創業。

昭和40年頃より多角化の一環として従来の洋服地販売だけでなく仕立て業(オーダースーツ販売)も行うようになりました

創業116周年

昭和40年頃より仕立て業(オーダースーツ販売)を開始

※一方で、スーツ業界全体が安売り競争に突入
→AOKI、青山商事さんや2000年代になってからは29,800円
39,800円の2プライス各店が台頭

そんな中でも、対話を大切にしていける社風を残した。

他社との違い

- ・こだわりを大切に
- ・記録よりも記憶で残る
- ・できる限り誠実に(コンサルタントとしてメンズトレンドにも対応する)
- ・伝統や歴史を守りつつ、お客様一人一人に一つ一つのスーツを届ける

オーナー(よしむら)様の想い

- ・風格ある街並み形成の新たな発信源になる
- ・単なるショップファサードの枠を超え、創業100年を超える老舗テラーとして品質、高級感、オリジナリティを表現
- ・店内はショールームはギャラリーのように様々な楽しめる

敷地計画エリア

千代田区神田須田町1-16

〈特色〉

- ・オフィス街に立地
- ・飲食店や居酒屋が多い
- ・隣に活気ある秋葉原がある一方で、**伝統や古い街並みを大切にしている**

〈景観〉

- ・神田万世橋の赤レンガの外装が目にとまる
- どの道を通ってきても赤レンガの情緒あふれる姿が目に入る**

魅せる、仕立て屋



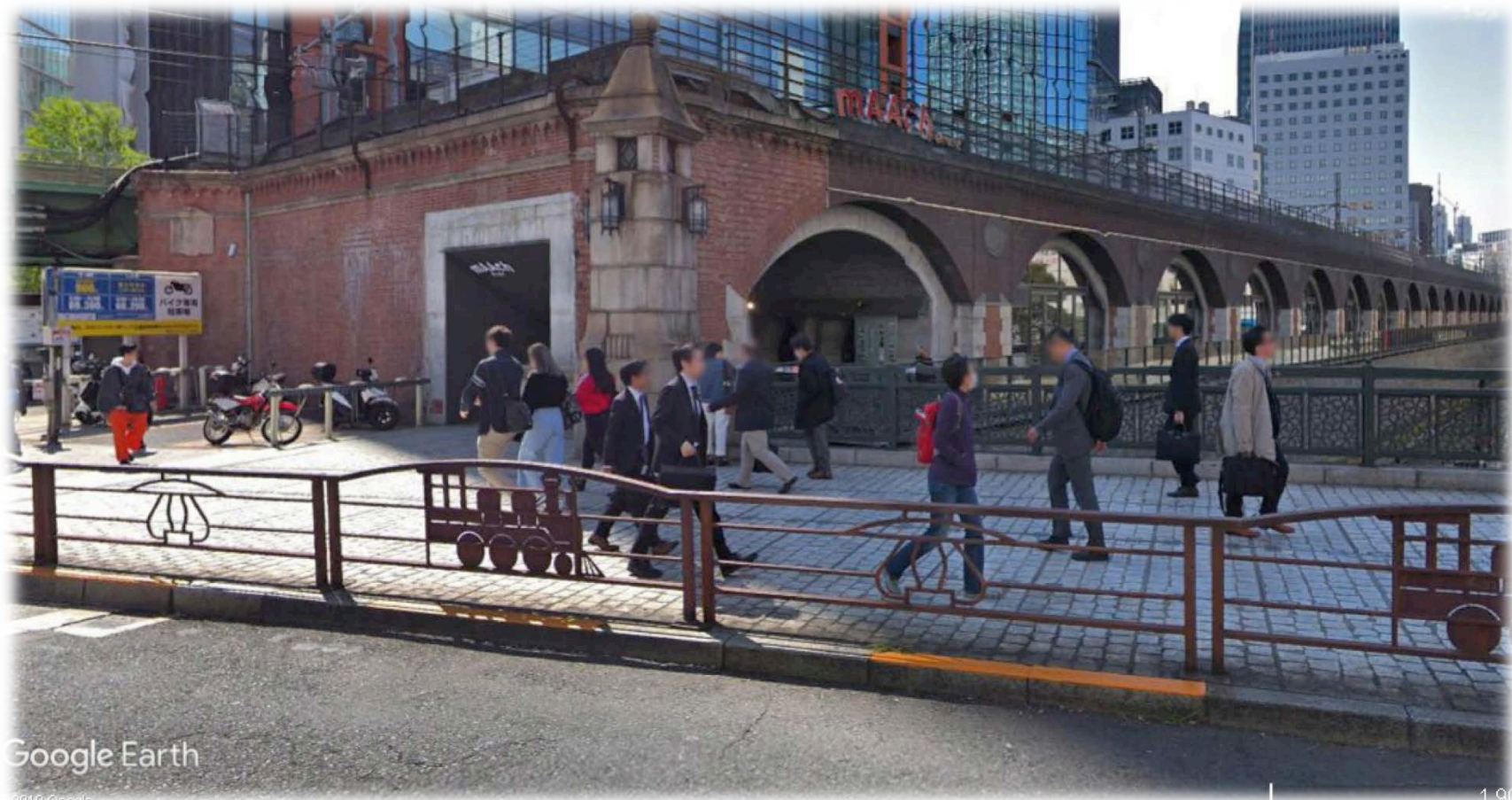
イメージパース



魅(見)せる

1. 歴史をみせる
2. 仕立てをみせる
3. スーツをみせる

①歴史を“みせる”



Google Earth

© 2019 Google

1.90

周辺図(写真)



→ディスプレイには歴代の商品や作業に用いてきたものを
歴史順展示

・展示の奥に現在の商品が感じられ、今までの歴史を感じながら今のよしむらを感じられます。

道から仕立ての
様子が目に留ま
る

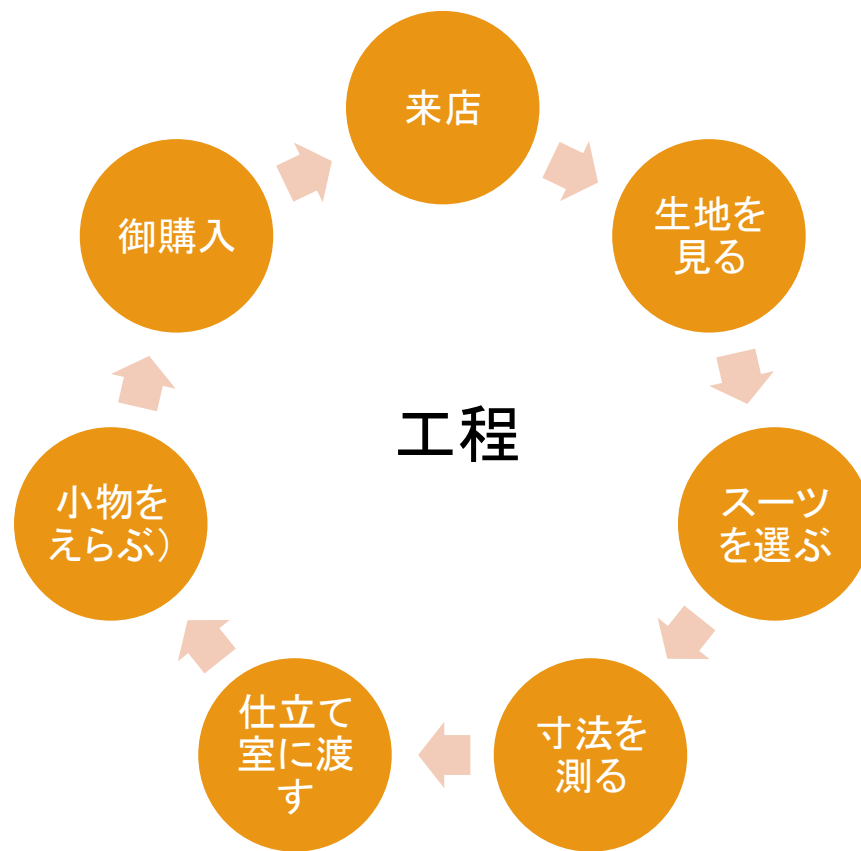


歴史的展示の裏
に現在の商品が
見える

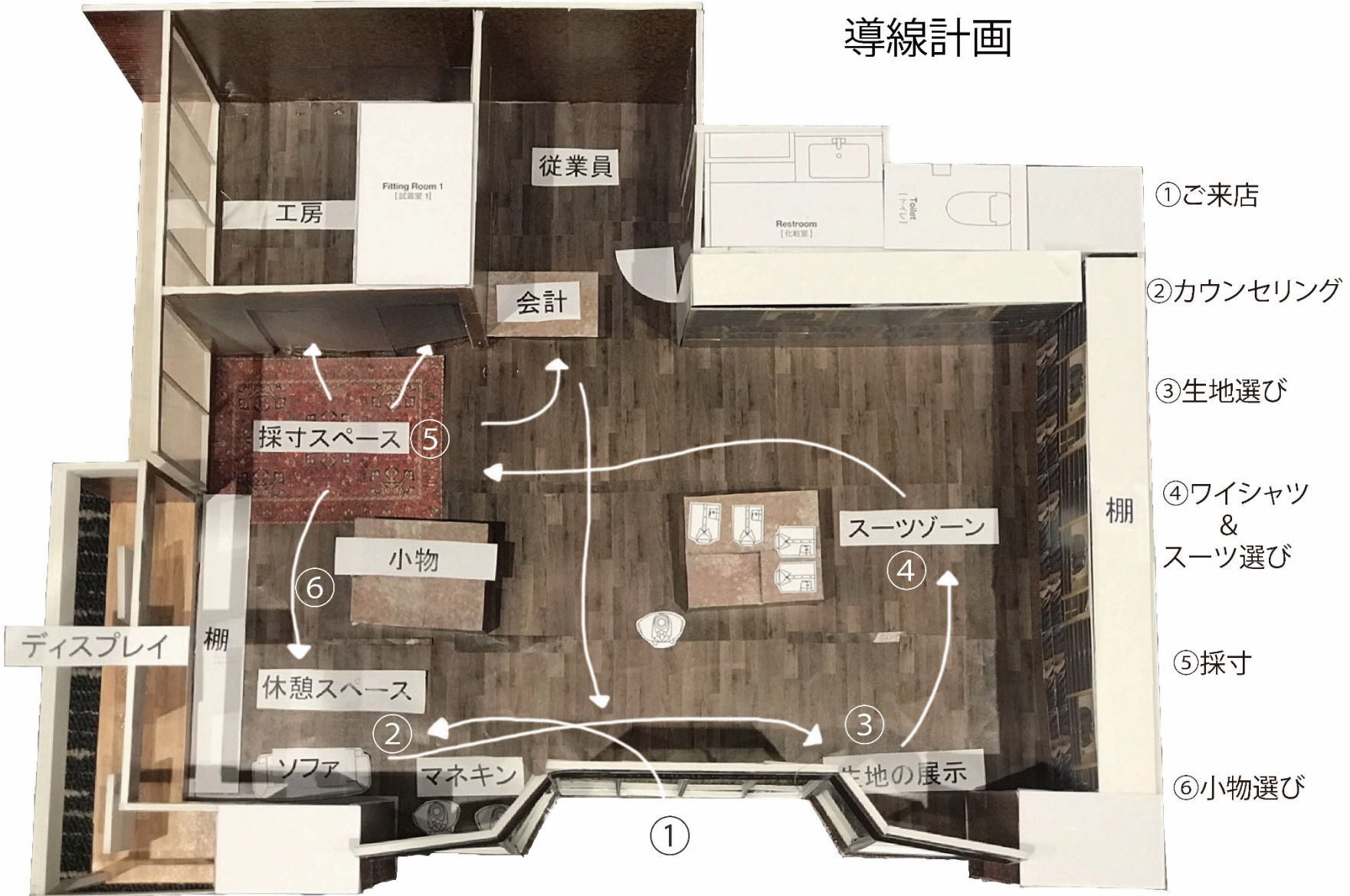


②仕立てを“みせる”

- ・中からの視線
仕立ての工程を動線の流れ
にのせる



導線計画



・外からの視線

仕立て室を外から見えるようにする
採寸している様子を外から見える
(お客さんをモデルに)

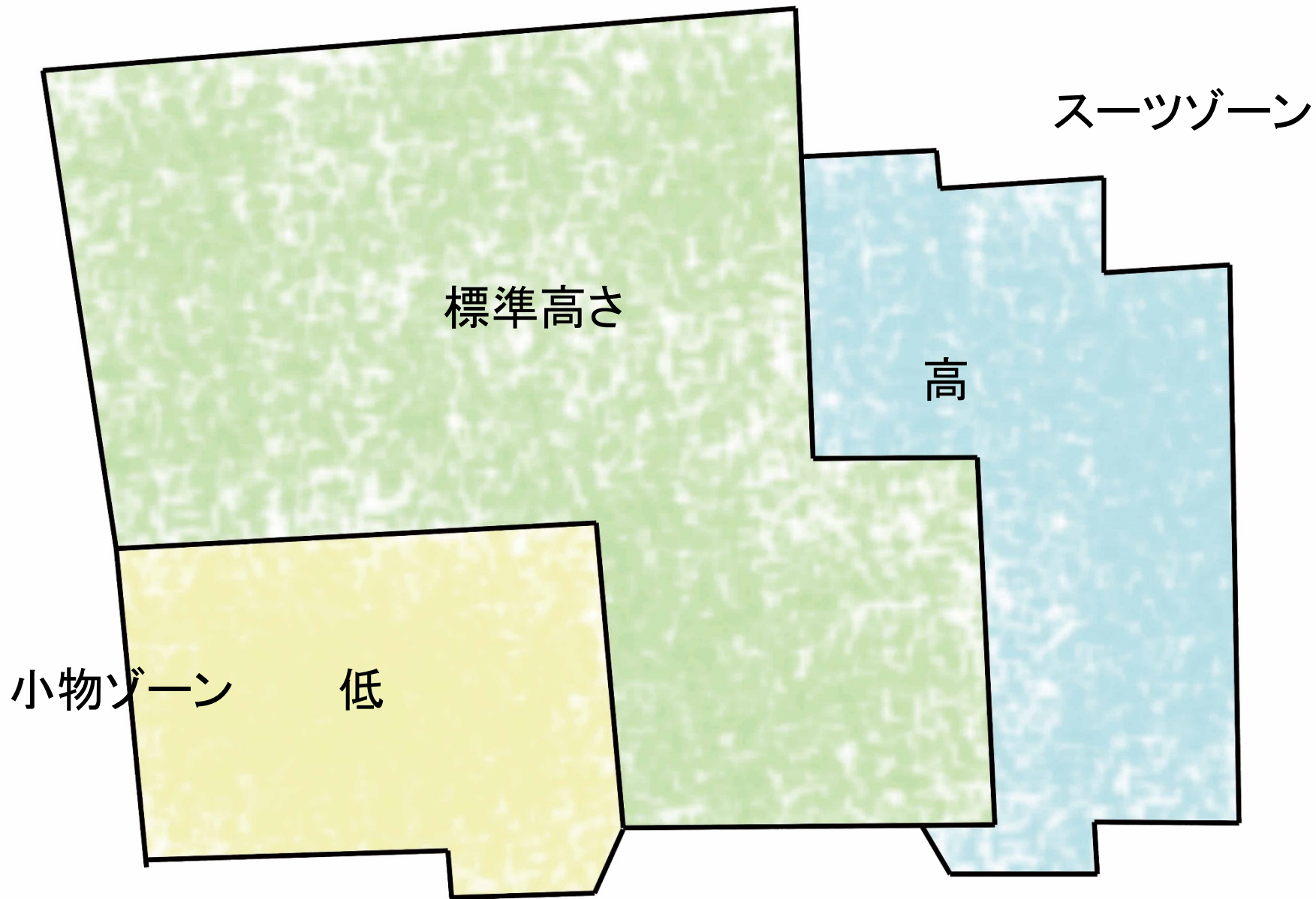
【プライバシーの問題】

人によっては見られるのは嫌だ。
→カーテンで遮る
→夜は中の光に照らされて、お客
様の様子が外にも影を通して伝
わる。



③ スーツを見せる





③スーツを見せる

家具はエントランスから見て右上がりになるようにデザイン

→外からの視線が、ディスプレイを通して店内を見通せるように



最後に

この店舗が吉村様のスーツを
引き立て、お客様を素敵な大
人に仕立てることを約束します。